

令和4年度 事業計画（支部事務局）
 創立150年（2027年）に向け日本赤十字社が目指す姿（長期ビジョン）

国内外における人道支援活動の“要”となりわが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字

長期ビジョン第一次中期事業計画（令和2年度～令和4年度）

【災害や紛争時における支援の充実とレジリエンスの強化】

【会員の赤十字運動への参画促進】

【超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求】

【奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充】

【多様化が進む社会における人道の輪の拡大】

【国際赤十字との更なる協働】

1 令和4年度事業計画策定にあたっての考え方

上記の「長期ビジョン第一次中期事業計画（令和2～4年度）」の最終年次にあたるため、引き続き、継続性・一貫性のある事業を、定量目標を設定して実施していきます。

2 令和4年度の事業内容について

- ◎いかなる環境下であっても災害で失われる命を守り、その苦痛を限りなく軽減するための活動を第一とします。
- ◎一般市民でも行える「命と健康を守る」活動の普及や、地域コミュニティや教育現場における平時からの防災・減災の普及強化にも一層努め、地域のレジリエンス（回復力）の強化にも重点的に取り組みます。
- ◎令和4年に迎える青少年赤十字創設100周年に併せ、教育現場から選ばれる「青少年赤十字」活動を一層推進するため、記念（連携）事業を実施しながら、積極的な加盟促進に取り組みます。

（各事業における特徴的な取組みは下表のとおり）

重点的に取り組む項目	内容
災害や紛争時における支援の充実とレジリエンスの強化	○大規模災害に備えた迅速に活動できる広域的な応援体制の確立[新規] ・南海トラフ巨大地震時でのカウンターパート制に基づく支援先である徳島県支部と連携した災害対応実地研修の実施【6月：徳島県】
	○あらゆる状況下でも確実に活動できる災害救護体制の整備[継続] ・感染症対策を踏まえた対応能力強化のための研修・訓練の実施【15回】
超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求	○「家族で備える」防災・減災普及事業の取り組み[新規] ・倉吉市赤十字奉仕団（地域）、鳥取看護大学赤十字奉仕団（青年）の連携による親子向けの防災・減災イベントの実施【実施時期：8月上旬・20組予定】
	○救急法をはじめとする講習普及強化、地域防災力向上への貢献[継続] ・AED等での救命各種短期講習の実施【200回】 ・赤十字防災セミナーの実施【30回】
多様化が進む社会における人道の輪の拡大（豊かな心をもった青少年の育成強化）	○赤十字の有する資源の活用推奨による青少年赤十字新規加盟の取り組み[継続] ・教員OBで組織する賛助奉仕団と連携した教育現場にメリットのあるアプローチ手法による新規加盟の促進強化【新規加盟5校】
	○青少年赤十字創設100周年と併せた記念（連携）事業の展開[新規] ・次世代へ繋ぐ「絵画コンクール」、「やさしさをテーマにした寄せ書き」の実施 ・海外姉妹社青少年赤十字メンバーの県内招聘による国際理解・親善の推進【11月】 ・「小学生を対象にした災害救護体験ツアー」の実施【7月】
会員の赤十字運動への参画促進（強固な組織基盤づくり）	○本社が行う支部支援を活用したファンドレイジング実施体制の強化[新規] ・新たに雇用させていただくアドバイザー（地元金融機関出身者）との連携による法人寄付ほか活動資金全般の獲得強化（雇用期間：令和6年度まで） 【新たな法人寄付100万円、新たな個人寄付100万円】
	○設立周年記念に合わせた法人様へのアプローチ、パートナーシップの構築[継続] ・赤十字有功会の仲間づくり運動と連動した社会貢献寄付の推進【新規寄付5社以上】 ・法人(会社)での全社員（職員）を対象にした応急手当講習の実施提案による新たな寄付の獲得【2社】 ・法人様との新たな連携の関係構築 ⇒災害救護活動時携行「鞆」の製作 【(株)バルコス《倉吉市》様による全面監修】（会社設立30周年記念事業）

